



あいさつする真嶋正行経済産業大臣



優秀専従者
中央会連携支援課係長
興水一篤



組合功労者
山梨県蒟蒻原料商工業協同組合
理事長 丸山光則 氏



優良組合
甲府ホテル旅館協同組合
理事長 伴野公亮 氏

第61回中小企業団体全国大会は、11月19日（木）に千葉県千葉市幕張メッセ「幕張イベントホール」において、全国中央会・千葉県中央会の主催で開催され、直嶋正行経済産業大臣のほか、関係省庁からの来賓や全国の組合役員等の代表者など3300人が参集した。

本県からは、内藤会長をはじめ、1泊2日、日帰り、現地合流を含めて総勢70名が参加した。

全国大会は、現下の厳しい経済環境下にあつて、組合の意義と役割を内外に示すため、「激動のとき 今こそ発揮 団結の力」をキャッチフレーズに、自らの決意を表明するとともに、国等に対して中小企業組合を中心とする連携組織の成果を示し、これら連携組織を通じた中小企業の振興・発展が、豊かな社会の実現を図るための礎であることを訴えるものである。

大会では、大別して、次の4つの決議案が上程され、各県の代表者による説明があり、原案のとおり満場一致により可決決定した。

一 経済危機の克服、中小企業・組合の活力強化、中央会の機能強化
二 中小企業に配慮した雇用対策等の推進
三 公正な競争環境の整備
四 中小企業の経営力の向上

また、表彰式では、優良組合38組合、組合功労者77名、中央会優秀専従者33名が紹介され、本県からは優良組合として甲府ホテル旅館協同組合（理事長・伴野公亮）、組合功労者として山梨県蒟蒻原料商工業協同組合の丸山光則理事長、中央会優秀専従者として興水一篤連携支援課係長が、それぞれその功績を称えられ受彰の栄に浴した。

なお、今回の全国大会は、平成22年11月18日（木）に平城京遷都1300年を迎える奈良県の「なら100年会館」において開催される予定である。

第61回中小企業団体全国大会を開催



山梨県中小企業団体中央会機関誌
平成21年度中小企業組合活性化情報

12月号

2009年
第634/212号
(毎月1日発行)

定価100円
昭和36年4月10日
第三種郵便物認可

11月の出来事

●時 事

- 2日 2009年度上期法人税収1.3兆円の赤字
- 4日 新型インフル、郡内地域に感染警報
- 10日 市橋容疑者逮捕

●山梨県中央会ニュース

- 8日 中小企業団体ゴルフコンペ
- 17、19、25日 組合士受験対策講習会
- 19日 第61回中小企業団体全国大会（千葉県）
- 25、26、27日 第2回地域力連携拠点経営セミナー
- 27日 第7回正副会長会議、第3回理事会

12月の予定

- 2日 組合士受験対策講習会
- 6日 中小企業組合検定試験
- 7、8、9日 第2回地域力連携拠点経営セミナー

中小企業等協同組合法施行60周年並びに中小企業団体の組織に関する法律施行50周年記念式典



総代として、賞状を受け取る
甲府市管工事（協）の伏見理事長

10月29日（木）東京都ANAインターコンチネンタルホテル東京において、中小企業等協同組合法施行60周年並びに中小企業団体の組織に関する法律施行50周年記念式典が開催された。

式典では、法施行以来その運営が特に優良と認められた組合、功績が顕著な組合功労者及び優良専従職員に対してそれぞれ表彰状が授与された。

本県からは、大臣表彰に3組合、中小企業庁長官表彰に3組合及び1名、全国中央会会長表彰に組合8名、団体系2名がそれぞれ表彰を受けた。

また、国土交通大臣表彰において、甲府市管工事協同組合の伏見直樹理事長が総代として賞状を受け取った。

中小企業庁長官表彰
組合法（3組合、1名）
山梨県水晶美術彫刻協同組合
石和温泉旅館協同組合
峡北自動車整備協業組合
高野 芳造（山梨県塗装協同組合）

大臣表彰
組合法（3組合）
国土交通大臣……甲府市管工事協同組合
経済産業大臣……山梨県食品工業団地協同組合
経済産業大臣……山梨県絹人織物工業組合



受賞者及び参加者の方々

全国中小企業団体中央会会長表彰
組合法（8名）
中村 文子（山梨県遊技業協同組合）
長田 聡（甲府市管工事協同組合）
青柳美恵子（協同組合山梨県鉄構工業会）
今井 朝子（山梨衣料チェーン協同組合アプロス）
佐藤 真（山梨県トラック事業協同組合）
三浦史津子（山梨県貴金属工芸協同組合）
窪田 幹彦（協同組合山梨県流通センター）
藤本文彦（山梨県石油協同組合）
落合 達也（山梨県自動車整備商工組合）
横内 優（山梨県自動車整備商工組合）

今月の見どころ

- 2面 秋の叙勲、県政功績者発表
- 3面 10月報告、県内業況は…?
- 4・5面 各種イベントが関係
- 8面 県知事と経済団体との懇談会
- その他、各種事業案内、施策等々情報を掲載

発行所 山梨県中小企業団体中央会
甲府市飯田2-2-1 中小企業会館4階
TEL 055(237)3215 FAX 055(237)3216
<http://www.chuokai-yamanashi.or.jp>
e-mail webmaster@chuokai-yamanashi.or.jp

栄 誉

叙 勲

秋の叙勲、組合関係者5名が受章

政府は、11月3日付で平成21年秋の叙勲受章者を発表した。山梨県関係の受章者は34名が受賞し、旭日小綬章に桜井洋氏（山梨協豊事業協同組合）、旭日双光章に青柳和人氏（山梨県書店商業組合）、旭日双光章に今井進氏（山梨県中小企業団体中央会）、瑞宝双光章に保坂哲男氏（山梨県電気工事工業組合）、瑞宝単光章に三浦明氏（山梨県水晶美術彫刻協同組合）がそれぞれ選ばれた。

●旭日小綬章

桜井 洋氏

●山梨協豊事業協同組合
理事長

●旭日双光章

青柳 和人氏

●山梨県書店商業組合
理事長
●市川大門町商業協同組合
理事長

●旭日双光章

今井 進氏

●山梨県中小企業団体中央会
理事
●甲府信用金庫
理事長

●瑞宝双光章

保坂 哲男氏

●山梨県電気工事工業組合
常務理事兼事務局長

●瑞宝単光章

三浦 明氏

●山梨県水晶美術彫刻協同組合
理事



県政功績者・組合関係者6名が受章

山梨県は、平成21年度の県政功績者を11日付で発表した。組合関係者では6名が栄えある受章を受けた。



金子二三男氏
上野原エルピーガス協同組合 理事長



今村豊行氏
元協同組合山梨県鉄構工業会 理事長



小宮山光彦氏
山梨県酒造組合 会長



興石 保氏
山梨県石油商業組合 理事長
山梨県石油協同組合 理事長



堀内 徹氏
元山梨県宅建事業協同組合 理事長



清水忠雄氏
元山梨県宝石研磨工業協同組合 理事長

2010中小企業団体新春交流会のご案内

開催日時 平成22年1月8日（金）17:00～19:00

開催場所 アピオ甲府 中巨摩郡昭和町西条3600

内 容 式 典（17:00～17:40）
交流会（17:40～19:00）

参加費 1人 5,000円

多数のご参加お待ちしております。

経済は子孫からの預かり物

バブルの崩壊が平成4年頃と言われ、18年が経過したことになります。その後は、実感の無い戦後3番目に長い（弱含みの）好況期や平成不況と、中小企業は長い景気低迷の中にあるといえます。

OECD（経済協力開発機構）が日本の貧困層の割合は先進国の中で2番目に高いと発表して以来、最近では貧困層という言葉が使われはじめ、11月20日の月例経済報告で政府もデフレ宣言を行いました。有効求人倍率も0・44倍、内正社員だけでは0・27倍と求職者にも厳しい状況が続いています。

私自身は、高度経済成長期にこども時代を過ごし、バブル期に青春時代を過ごしてきました。天気にとえるならば、経済の晴れの日も雨の日も経験をしました。しかし、バブル崩壊後に生まれ、来春高校を卒業し、社会に立つ若者達は、経済の曇り日しか経験をしてこなかったこととなります。

「大地は先祖からの贈り物ではなく、子孫からの預かり物」という、アメリカ先住民のことわざがあるそうです。多くは環境に関して使われますが、経済も先祖からの贈り物ではなく、子孫の預かり物であるならば、今は子孫からの預かり物を消費したままの状態といえます。

私たちのこども達にも、晴れ晴れとした経済環境の中での生活もあると、希望の持てる社会を返せるように努力をしたいものです。

ibuki
息吹

山梨県中小企業団体中央会
情報連絡員報告

(平成21年10月分)

本県の10月の景況は、全業種のDI値では、売上高-62(前年同月比-14)、収益状況-50(前年同月比+16)、景況感-62(前年同月比+14)と売上高を除いては、収益状況と景況感ともに前年同月比でポイントが改善し、プラス水準を維持しているが、前月比では全項目でDI値が悪化している。

業種別のDI値で見ると、製造業は、売上高-70(前年同月比-15)、収益状況は-60(前年同月比+5)、景況感-75(前年同月比+5)と、前年同月比では、売上高がマイナスとなったほかは、わずかであるがDI値に改善が見られた。前月比では、全ての項目でマイナスとなった。

非製造業のDI値は、売上高-57(前年同月比-14)、収益状況-43(前年同月比+24)、景況感-53(前年同月比+20)と製造業と同様に売上高以外は、前年同月比のDI値は大幅に改善している。前月比では、収益状況のみが同ポイントを維持した以外は悪化傾向にある。

前月9月期では、一部業界でシルバーウィーク効果や、公共工事の前倒し受注等のスポット的売上げ増加により、予想以上のポイント改善が見られたが、10月調査では、各業種の実情に即した結果となり、3ヶ月連続でプラス推移を続けてきたDI値は、7月期の水準まで逆戻りした感がある。

連絡員からの報告コメントからも、県内中小企業にとっては、先行きの見えない厳しい経営環境が依然として続いている。



業界の動き

データから見た

持ち分の返済資金の調達に苦慮し、組合運営が困難となっている。

建設・設備工事／行政業務を民間にアウトソーシングしていく流れは加速していくと思われる。共同受注の観点から、いかに組合のメリットを抽出し、競争していくかが課題となる。

食品製造／組合員の業績悪化に伴う借入難が課題。今後、組合の総合力強化と活用が必要となる。

今回は、各業界、組合が抱える課題に対して、どのような取り組みを行っているか、必要となるのか、課題と対応とその必要性について聞いた。主な報告は次のとおり。

【製造業】

食品製造／組合員の業績悪化に伴う借入難が課題。今後、組合の総合力強化と活用が必要となる。

繊維製品製造／下請加工から一部でも自社で売る販売部門を作る。今後、必要。

印刷／業界でCO₂削減への取り組みが図れるのか検討し、対応を模索する。

窯業土石／出荷実績が落ち続けているため、出荷数量の調整を考えた必要あり。

その他／売上げ減少に伴うリストラによる雇用問題が深刻化。ジョブ制度の柔軟な対応に期待。

【非製造業】
商店街／安全安心のまちづくりとして、監視カメラの設置などを検討中である。

建設業・職別工事／組合員の廃業による脱退が増加。出資

業界から一言

製造業

●食料品(水産物加工)／婚礼用食料及び百貨店、スーパー向けギフトが不振。特に高額商品の動きが低調。

●食料品(菓子)／消費者の買い控えが目立つ。世間の景気の悪さを感じる。

●繊維・同製品(アパレル)／低水準で下げ止まり。(昨年11月より急激に悪化した水準のまま)

●木材・木製品製造／今年中は見積量からみても平年以上になる見込み。

●家具製造／景気の悪化に伴い、住宅、家具のような大型消費財の動きは非常に悪い。印刷／業界企業は何かか会社

を運営している状況であり、最悪な事態も考えられる。

●窯業・土石(砂利)／売上高は徐々に上昇しているが、対前年比で見ると16.6%の減少。11月から着工する工事により来年3月末までは売上高も順調に推移する見込み。来年度は、高速道路のトンネル工事も着工されるため本年より幾分上昇を期待。

●一般機器／短期的には、太陽光発電関連で忙しくなったが、継続性は未定。売上アップは来月から予想。

●電気機器／一過性の受注の上、少量、短納期で生産性は悪い。メーカー都合で多くの見積依頼はあったが、受注しても相手方の指値で発注されるため、利益に結びつかない。

●非製造業
●卸売(紙製品)／中国の需要が僅かながら好転するも、価格については依然低調。年末は需要とも悪化の見込み。

●小売(水産物)／本年度上期は、売上高、客数とも対前年比で7%の落ち込みで、現状下げ止まりの状況。年末商戦に向けた好材料は見受けられ

ない。

●小売(事務機文具)／店頭販売は少し好転の兆しが見られる。企業、役所向けは特に厳しさが増している。

●小売(石油)／10月のガソリン・軽油・灯油等の元売仕切価格は原油価格の値下がりにより1円〜2円の値下げとなり、各SSは適正価格の範囲内で販売した。(ガソリン1リットル129円) 11月の各SSの販売価格は、10月積みの中東原油が78ドル台まで上昇したが、大幅な円高、ドル安でコストの上昇の大半が解消されるため小幅な上昇になると思われる。

●商店街／高級品の売れ行きが特に悪い。商品券による活性化策も大型店に集中し、地元小売店に新規客現れず苦戦。宿泊業／特に学校、父兄関係の集まりが減少し、インフルエンザの影響もあるのではと推測。忘新年会予約もホテルから居酒屋へ移行。価格面で太刀打ちできない現状。

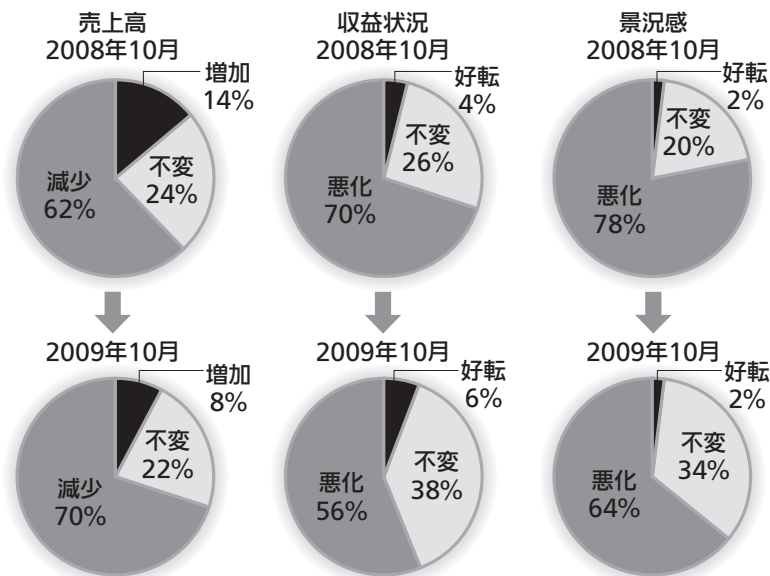
●建設(住宅関連)／雇用と賃金の状態が不安定であるため、若年層が住宅取得に意欲

が沸かないのではと感じる。

●建設業(型枠)／景気は年末に向けて公共工事の前倒しもあり、徐々に上向いてきているが、まだ例年ほど仕事が無く、民間工事が期待できない本県において来年以降が心配。

●建設業(鉄構)／鉄構業界を取り巻く環境は、鉄構需要量の著しい減少により、極めて深刻な状況にあり、ゼネコンの指値攻勢や過当競争から適正な品質を確保する価格には程遠いのが実情。景気回復の遅れから設備投資が出ないため来年も工事物件はほとんど無い状況。

データから見た業界の動き(平成21年10月分)



業界の声

山梨県美容業生活衛生同業組合

事務局長 前田 茂樹氏

業界の現況は?

長期的な不況により、主婦等の財布の紐が堅くなり美容室の利用頻度が減っている事、また、相次ぐ低料金店舗の参入により全体的な業界景況は厳しい状況にあります。

特に、低料金店舗の参入は大きな問題となっております。この問題を解決するためには、低料金店舗では実現することが難しいクオリティの高いサービスを行うことが重要と考えております。

現在、山梨県内には組合に加入している業者が約700店舗あります。その組織力を活かして、地域全体のレベルアップを行うことが重要であると考えております。

今後の展開は?

繰り返になりますが、サービスの向上が一番と考えております。美容室がメインターゲットと考える女性や若い男性が望んでいることは、自分が希望する髪型を髪質にあった適正な方法でカット・パーマ等をしてもらう事であり、そのためには当然高い技術力が必要となります。そのため、組合では技術力向上のための講習会等を随時開催しており、会員の技術力向上に積極的に取り組んでおります。

また、企業のコンプライアンスが叫ばれている中で、「安心・安全・清潔」を前面に出した公衆衛生講習会を開催しております。この企画は、昨年度より県内各地の保健所等の協力を得ながら行っており、組合員受講者には受講証明のシールを配布し、会員の信用力向上に取り組んでおります。

その他の活動としては、「いっ得」という無料フリーポン付きフリーペーパーを組合で作成・配布する事、また、Sマーク(標準営業約款制度)の普及や組合広報誌の作成・配布といった従来の活動も積極的に行う事により、組合員の売上向上に協力しております。



西嶋和紙 宇宙を飛ぶ

ACTIVE KUMIAI



左:笠井雅樹理事長 右:若田光一氏

10月23日、宇宙飛行士の若田光一さんが西嶋を訪れ宇宙で書道をした西嶋和紙の引渡し式が行われた。

この話の発端は、昨年8月、身延町で布団屋を営む笠井真一さんが若田さんのインタビュアー番組を見たことに遡る。若田さんは、「日本の宇宙実験棟『きぼう』の中で長期滞在中の限られた余暇の間に何をしたいか。」と言う質問に、「書

道をしたい。」と答えたそうである。これを見た布団屋のおっちゃんが、紙屋のおっちゃん達にこの話を伝え忘れかけていた夢を思い起こさせてくれたという。

地場産業である、西嶋和紙は、近年、外国産の安価な和紙の流入と、後継者不足、従業員確保の難しさや、原材料費の高騰など、多くの困難を抱え、苦闘しているそんな中で、この「ぎぼうの紙」は、まさしく「ぎぼうの紙」として、西嶋和紙に携わる者のみならず、身延町民にも明るい話題として「ぎぼう」の灯をともしることになると考えた。

どんな紙が良いか、皆で考え、薬品を使わず、自然素材だけで作る昔ながらの製法に、西嶋和紙工業協同組合で開発した、スカシの技法を組み合わせることとし、心を込めて、皆で一枚一枚漉いたという。

「子供の頃の宇宙に行くという夢が、少し形は変わりましたが、叶いました。」「近い将来、この身延町から宇宙飛行士や、宇宙の謎を解く、科学者が生まれることが、新たな、私の「きぼう」と「夢」になりました。こんな、おっちゃんでも、また、新しい夢がみられます。」と笠井理事長は感動の気持ちで語ってくれた。

若田さんの書は、「なかとみ現代工芸美術館」のロビーにて無料公開中である。若田さんの書を見て、多くの

子供達が、あらためて、夢や希望を、胸に抱いてくれることが関係者一同の望みである。



書道をする若田さん

西嶋和紙工業協同組合

地域ぐるみで

『秋の収穫祭』を開催

ACTIVE KUMIAI

北杜市で貸し農園を運営している高根クラインガルテン（清水昭博理事長）で、11月1日に秋の収穫祭が開催された。

この収穫祭は農園
オープン以来毎年秋
に開催され、今年で12
回目、地元の高根町
蔵原地区の公民館ま
つりとの共催で6回
目の開催となった。

当日は、組合員の地元住民によるそば・う

どん・焼き鳥・焼きそば、餅などの模擬店、農産物・花木の直売や農機具等の販売コーナーなども設けられたほか、輪投げ・ビンゴゲーム・マスのつかみ取り大会など多彩なイベントも開かれ、好天のもと、終日たくさんの人で賑わった。

また、農園利用者による農産物品評会も開催、各自自慢の農産物が40点以上出品され、八王子市の浜崎さんのカリフラワーが最優秀賞となった。

清水理事長は「地元の蔵原地区160戸のうちに組合員が130名近くおり、この収穫祭は地元の住民と



品評会に出品された農作物

今年は小麦の栽培に組合として初めて取り組み、来年の首都圏の中学校のほうとうづくり体験に使える小麦粉が720kg収穫できた。これからも様々な工夫をしながら、組合の運営を広げて行きたい。」と語ってくれた。



広場でくつろぐ来場者

高根クラインガルテン企業組合

組合設立60周年記念 デモンストレーションを開催

ACTIVE KUMIAI



感謝状を手渡す岡村理事長

山梨県生花商業協同組合（岡村満理事長）は、11月26日に甲府市「ロイヤルガーデンホテル」において設立60周年記念式典とデモンストレーションを開催した。

執り行われた。
続いて、式典では来賓を代表して、山梨県中小企業団体中央会

内藤悦次会長が「先の見えないデフレ状況にあるが、今こそ団結して行くことが重要である。後継者不足と嘆く業種が多い中、8割を越える若手後継者がいる現状は見事である。山梨の生花業界に培われたDNAが脈々と受け継がれ発展してこれたのも歴代の理事長はじめ「組合」という大きな組織が充実した活動を行ってきた賜である。」と祝辞を述べた。

デモンストレーションでは講師に新進気鋭の花職人磯部健司氏(株)花の百花園常務取締役・フローリストアカデミー代表を招き、組合員、若手後継者や従業員などが造形の基本を再確認するとともに花の選び方、季節感、花卉の活かし方や技術等の指導を受けた。

磯部氏は、「一番大切なことは『基

本』。しかし、基本を何度も学ぶことは難しい。そして、常に創造性とインスピレーションを磨くことが大切。」と熱弁をふるった。

また、デモンストレーション終了後には、作品をカメラに撮影したり、情報や意見交換が活発に行われた。



デモンストレーション会場風景

山梨県生花商業協同組合

TOPICS

青年部県大会開催



あいさつする小沢会長

山梨県中小企業団体青年中央会（会長：小澤浩）は、11月12日（木）、「古名屋ホテル」において平成21年度組合青年部県大会を開催した。県大会には約50名の青年経営者及び後継者が参加し、依然として続く経済不況を打開するためのビジネスプランの策定及び既存ビジネスを新たな形態に変革させるような新発想のヒントを探るため、講演会の聴講及び交流会での情報交換に

取り組んでいた。

講演会には、全国に180以上の拠点を持つ総合探偵社ガルエージェンシー元代表取締役（㈱アルセーヌジャパン代表取締役）大徳直美氏を講師に招き、暗いイメージを持たれがちな探偵業を明るく接しやすいイメージに変革させ、業界で初めてフランチャイズ性を導入した経緯についての講義を受けた。

講演会後半には、近年問題となっている企業の情報漏洩について説明が行われ、情報漏洩は盗聴器やゴミなどによって引き起こされる事、また、それを防ぐための手段についても併せて説明が行われた。

また、探偵ならではの視点で、詐欺師にだまされやすい経営者についての経営者分析が行われた。

会場を移して行われた交流会は、山梨県商工労働部商工総務課清水課長等の来賓が参加し、山梨県経済の先行き等について意見交換がなされた。



講師の大徳氏



受賞者へ賞状が手渡された

11月26日甲府市朝気ホテルクラウンパレス甲府において第23回活力ある職場づくり推進運動山梨県大会（主催 山梨県中小企業労務改善団体連合会 共催 山梨県・後援 山梨県中小企業団体中央会）が開催された。

この大会は、毎年11月

を活力ある職場づくり推進運動月間とし、中小企業へ各種労働施策の活用促進と、人事・労務管理改善の気運の向上を図り、従業員にとって働きがいを感じる活力と魅力のある職場環境整備を推進することを目的としており、労務改善活動に尽力した功労者、優良従業員に対して表彰を行った。

式典では、知事表彰団体功労者表彰2名、中小企業団体中央会会長団体功労者表彰6名、労務改善団体連合会会長表彰団体功労者10名に賞状と記念品が手渡され、受賞者を代表して山梨県トラクターミナル労務改善協議会の芦澤文男氏が謝辞を述べた。

また、式典終了後記念講演会が開催され、加藤社会保険労務事務所代表加藤里美氏が「一般事業主行動計画策定のポイント」と題して、平成20年12月の「次世代育成対策推進法」の一部改正に伴う一般事業主行動計画の内容の解説、また、一橋大学大学院商学研究科教授の橘川武郎氏が「地域からの経済再生と雇用創出」と題して、世界同時不況からどう抜け出すのかなど経済再生について、貴重なノウハウについてそれぞれ講演を行った。



県大会風景

活力ある職場づくり推進運動山梨県大会を開催
功労者など18人を表彰

「70歳まで働ける企業」創出事業 高年齢者雇用における先進企業事例紹介（2）

本会では、昨年度に引き続き、「70歳まで働ける企業」創出事業に取り組むこととなりました。我が国では、少子高齢化による労働力減少が問題とされており、豊富な経験、知識、技術等を有する高年齢者の雇用が重要な課題とされています。この事業では、高年齢者雇用安定法に基づく65歳までの雇用確保措置の推進・充実、その後の70歳までの雇用確保について、各企業の高年齢者雇用を支援していくため、専門家の派遣や高年齢者雇用に向けたセミナーの開催等を行うものです。事業主の皆様も、積極的にこの事業を活用し、円滑な高年齢者雇用の推進にお役立て下さい。

●なお、本事業参加希望の方は、下記【お問い合わせ先】までご連絡下さい。

1. 先進企業

秋山土建 株式会社

2. 概要及び特徴

道路やトンネル等の公共事業を中心に業務展開している。

3. 定年及び定年後の継続雇用制度

- (1)定年 62歳
- (2)定年後の継続雇用制度
希望者全員を65歳まで再雇用
- (3)運用の具体的内容
・健康状態や業務内容により、70歳までの雇用の制度がある。
・70歳以降の者で会社が認める者は雇用する場合がある。
- (4)現在の最高年齢者 79歳

4. 高年齢者雇用に対する基本的な考え方

- (1)70歳雇用の背景及び雇用のメリット
長く働いてきた人を大事にしたい、働けるうちは会社にも貢献してもらいたいという考え方。高齢者はいろいろなことに通じているので、経験等も活かしてアドバイスしてもらえるのがメリットである。
- (2)現在取り組んでいること
現在取り組んでいることは特にない。定年後は労働条件を変えているので、その点は時々チェックしていく。

5. 70歳従業員の就業状況

	Aさん(70歳)	Bさん(79歳)
雇用形態及び勤務形態	パート、8時～17時	パート、9時～16時
労働時間	月20日勤務、月約157時間	月18日勤務、月約108時間
職務内容	総務事務	営業(主として官公庁)
賃金	15万円	15万円

6. 高年齢者の雇用施策の現状

	62歳～64歳	65歳～
雇用形態及び勤務形態	定年後も正社員の者もあるが、その他の者は希望により短時間勤務の者が多い。	—
賃金制度の内容	月給制である。定年後は減額となるが、複数の一定率の中から能力に応じて選択して適用するので、個人差が出る。	65歳前と同じ。労働時間等によって、人により異なる。
平均賃金(おおよその額)	25万円くらい。	—
配置、職務内容	多くが定年前の職務を継続するが、職務を通して後進の指導・育成役も兼ねている。	同 左
その他配慮事項	賃金は50歳代後半をピークにしており、定年62歳後の再雇用時に見直している。個別の能力を加味して決定する。内規を定めている。	

7. 60歳以降もいきいき元気に働くための従業員への施策

	60歳以前に実施	60歳以降に実施
能力開発面	外部研修への参加、公的資格等の取得を奨励、援助している。	経験を活かして、後進の指導・育成も担当してもらっている。
技術、技能面	高齢者からの技術・技能の伝承は、日常業務の中で行っている。	—
その他 人事、労務管理での工夫	—	体力等を考慮して、仕事量を軽くすることもある。

※上記は、平成21年1月時点の内容です。
※参照:「70歳いきいき企業100選(2009年版)」(編集・発行:独立行政法人高齢・障害者雇用支援機構)



●山梨大学 研究室訪問

第27回

ただいま、研究中！

このコーナーは、「地元大学と中小企業の橋渡しのきっかけ」にと、山梨大学の先生と研究を紹介するために企画されたものです。

紹介にあたっては、中央会の職員が大学の研究室におじゃまし、できるだけ分かり易い言葉で記事を書くようにしています。そのため、研究内容が正確に伝わらない場合がありますが、ご容赦下さい。

五感を利用したヒューマンインタフェースの開発

～人にとっての使いやすさの追求～

■研究テーマについて教えてください。

デジタル情報の処理技術の発達により情報家電機器が一般家庭に普及し、どこからでも必要とする情報を簡単に得られる社会になりつつあります。テレビやゲーム機のように、様々な情報家電機器は気軽に操作できるように改良されており、ユーザの範囲は以前のように一部の専門知識をもった人だけでなく、子供から高齢者まで広がっており、いろいろな場面でコンピュータを使用していますが、まだまだ使いにくいシステムが多いのが現状です。

このような視点から人間にとってコンピュータをより使いやすくするための、「人間とコンピュータとの相互作用（インタラクション）」の研究が重要と考え、使いやすく判りやすい、安全で効率的であり、操作が簡単で楽しめるコンピュータシステムを研究しています。

ヒューマンインタフェースとは、コンピュータと人間との情報の対話（情報取得・情報入力）手段であり、画面より視覚情報を人間が取り入れて→コンピュータに入力（命令）→コンピュータ上の処理→画面への出力という流れです。現在は機器のメーカーが主体となり高機能が多く付加されていますが、使う側の利用者（ユーザ）の使いやすさという点ではまだまだであると考えられ、デザインと使いやすさの二面で検証する必要があります。使いやすさ（ユーザビリティ）では、目的達成のために有効、安全であることはもちろん、ストレスを生じないか、満足度という点に評価軸を置き、考えられる必要があります。

従来の使いやすさの研究においては、現在インタフェースはリモコンやスイッチ、マウス、キーボードが主流ですが、私たちの特徴はマルチモーダルインタフェースのアプローチでの研究です。人間同士がコミュニケーションする

には音声による言語だけでなく、表情・身振り・手振り・視線など様々な非言語行動も加えて円滑な対話をしています。マルチモーダルインタフェースでは、この人間同士のコミュニケーションの手段を情報機器との情報のやり取りに応用します。私たちの研究では、人間の生理的指標である皮膚伝導率、脈拍、脳波、視線の動き、筋電位、言語、ジェスチャ、情動・感情など表現の五感に係る信号をコンピュータとの相互作用（対話）に取り入れようとしています。

■具体的な研究内容は？

人間とコンピュータとのコミュニケーション、またはコンピュータを介した人間と人間とのコミュニケーションを支援するシステムを研究しています。

これまでの研究テーマを以下に紹介します。

- ①生体信号に関する研究では、足の皮膚伝導の変化を覚醒度の変化に置き換え、吹き出しの形状を変化させ、また頬と眉間の筋電を感情価の変化に置き換え、吹き出しの色を変化させることができました。
- ②コンピュータからの情報は視覚ないし聴覚情報が主ですが、その他の五感の刺激により生体信号（脈波、呼吸、皮膚伝導率）に変化があることがわかり、コンピュータからの情報に対する人間の気づき（認識）の判定（意識か無意識か）に応用できると考えます。たとえば、Webページの見やすさ、わかりやすさ、または情報の探しやすさなどを評価する方法の研究は、視線の動きから閲覧者がどこをどのような経路でどのくらいの時間見ているのかを調べたり、生体情報から、閲覧者がどのように感じているのかなどがわかります。また、ゲームについての総合的な満足度合いを生体情報から知ることができ、ゲームの評価に生体情報を使うことができるという結果を得ています。
- ③力量ボタンマウスの開発では、マウスボタンを押下げる力の強弱を操作に反映する研究をしています。
- ④仮想の物体をつかんで放すという簡単な手振りをを使って、自分の画面に表示されたデータをネットワーク経由でとなりの画面に転送したり、反対にとなりの画面に



●工学部コンピュータ・メディア工学科
工学博士 今宮 淳美 教授



●工学部コンピュータ・メディア工学科
小俣 昌樹 助教

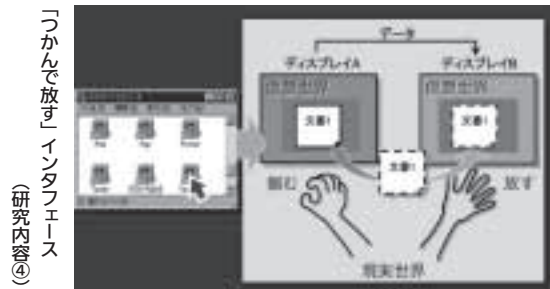
表示されているデータを自分の画面に転送したりするシステムを研究しました。現実世界の物の形や位置をきっかけとして、ユーザがネットワーク経路を意識することなくデータの送受信を行えるようなシステムを目指しています。

- ⑤ユーザのコミュニケーションネットでの影を使ったシステムの研究では、影の大きさやジェスチャによる意志・意図の伝達ができることを目指しています。

■今後の展開については？

研究を進めていくと生理学や脳科学との領域にも関わりが出てきます。コンピュータはデジタルで処理するのに対して、人間は頭と体を使ってアナログでコンピュータを使っています。システム構築においては人間を補助する道具としてコンピュータをとらえ、人間がシステムに合わせるのではなく、システムが人間に合わせるように、ユーザが主体的に関わるインタフェースの設計を迫って行きます。すなわち、高度情報通信社会における産業、医療・福祉、教育などの分野において、メディアを利用した臨場感のある仮想情報空間での情報利用および遠隔地間での有効なコミュニケーションが可能となります。使い方を知らない利用者の利便性を考える場合、相手の状況や知覚能力に適したメディア形態で情報を伝達できるインタフェースを開発することは社会的に大きな意義があります。

●今宮・小俣先生の研究などについてのご相談がありましたら、山梨大学 産学官連携・研究推進機構（TEL:055-220-8755, FAX:055-220-8757）までお気軽にご連絡下さい。



つかんで放すインタフェース
（研究内容④）

シニアワークプログラム事業

60歳前半層を中心とする働く意欲のある高齢者の雇用・就業の確保を促進とすることを目的として「技能講習会」「合同面接会」などを実施し雇用・就業を目指します。

タクシー乗務員養成コース合同面接会

●平成21年12月10日（木）

ヘルパー2級課程コース合同面接会

●平成22年2月25日（木）



シニア就業支援プログラム事業

55歳以上の人材を求めている企業は（社）山梨県シルバー人材センターに登録して下さい。

常用雇用、パート雇用、臨時雇用での人材ニーズがあった場合はハローワークと連携し雇用に結びつけます。

シルバー人材センター連合会へ登録

●企業、事業主、地域社会、
地域のシルバー人材センター

●ワークショップ
（職場体験、ボランティア、シルバー就業体験）
●就業支援講座



※人材を求めている参加企業を募集しています。詳細は下記までお問合せ下さい。

問い合わせ・お申し込み （社）山梨県シルバー人材センター連合会 〒400-0355 甲府市飯田三丁目3-28 TEL055-228-8383 FAX055-228-8389

納本のお願い

国立国会図書館よりのお願い

◆納本制度とは？

納本制度とは、図書等の出版物をその国の責任ある公的機関に納入することを発行者等に義務づける制度の事です。わが国では、国立国会図書館法により、国内で発行されたすべての出版物を、国立国会図書館に納入することが義務づけられています。

◆納本するとどうなりますか？

当館の正式な資料として受け入れられた場合、当館の蔵書となり、当館公式ホームページにある当館蔵書データベースにて検索可能となります。

また、図書館資料として広く利用されると共に、国民共有の文化的遺産として永く保存され、日本国民の知的活動の記録として後世に継承されます。

とくに社史等の場合、企業や産業を研究している利用者が資料として利用する場合があります、会社の業務、業績を知らしめることになります。

◆本件についてもお問い合わせ先

〒100-8924 東京都千代田区永田町1-10-1
国会国立図書館 収集書誌部 国内資料課 収集第一係
TEL 03-3506-5205(直通) URL <http://www.ndl.go.jp>

第40回中小企業団体親睦ゴルフコンペを開催

11月8日(日)、笛吹市「ウッズストックカントリークラブ」において、中小企業団体の親睦と交流を図るため、第40回中小企業団体親睦ゴルフコンペを開催し、中央会会員をはじめとして96名が参加した。

参加者は新ペリア方式による団体戦、個人戦を行い、日頃のゴルフの腕を競い、鋭気を養っていた。

ゴルフコンペ終了後、参加者同士の交流も兼ねた表彰式が開催され、団体戦と個人戦の順位賞の他、「ニアピン、ドラコンなどの特別賞(個人戦)」の受賞者にそれぞれ賞品が贈られた。

団体戦では協同組合山梨県鉄構工業会が優勝を獲得し、個人戦では山梨県水産物商業協同組合の窪田徹夫氏が優勝となった。

また、団体戦、個人戦の優勝・準優勝等は次のとおりとなっている。

【団体戦】	
優勝	協同組合山梨県鉄構工業会
準優勝	山梨県協豊事業協同組合
1位	(株)富士セイセン
2位	山梨県食品工業団地協同組合
3位	都留信用組合
【個人戦】	
優勝	窪田 徹夫(山梨県水産物商業協同組合)
準優勝	健 健(山梨県協豊事業協同組合)
1位	巧(山梨県冷凍空調設備事業協同組合)
2位	北野 進(山梨県山砕石事業協同組合)
3位	千野 進(山梨県山砕石事業協同組合)
4位	溝口 徳仁(株)甲斐延



団体戦、優勝の(協)山梨県鉄構工業会

情報BOX

メンタルヘルスの予防から職場復帰までメンタルヘルス対策全般のご相談に応じます！

▶メンタルヘルス対策支援センター(山梨産業保健推進センター内)

住 所	山梨県甲府市丸の内3-32-11	住友生命甲府丸の内ビル4F
窓口開設時間	13時～17時	
電 話	055-220-7040 (9時～17時)	
F A X	055-220-7041 (24時間受付)	
メー ル	mental-yamanashi@sanpo19.jp (24時間受付)	
ホームページ	http://sanpo19.jp/mental	

メンタルヘルス対策に関するご相談はこちらです！

支援内容

- 産業カウンセラー等専門スタッフによるメンタルヘルスに関する相談
- 心の健康づくり計画はどのようにすればよいのか。
- 職場復帰支援プログラムはどのようにすればよいのか。
- 社内のメンタルヘルスに関する相談体制づくりはどのようにすればよいのか。
- メンタルヘルスについて従業員に理解してもらうにはどうしたらよいのか。
- 社内スタッフや従業員への教育・研修はどうしたらよいのか。

ストップ温暖化！！

地球の温暖化が叫ばれています。現に世界各地での砂漠化や異常気象など、私たちの身の回りにも深刻な影響は起きているのです。

私たちトラックも化石燃料を消費し、地球温暖化物質を放出しています。一方でトラックによる輸送は、既に、国内の輸送の約9割を担い、水道や電気と同じように日常生活に欠くことのできないライフラインの一つでもあります。「私たちは人間で言えば血液のようなもの」そんな自負もあります。

だから、私たちは環境に対しても自分たちでできる努力はぜんぶやろうと思います。たとえば、コストの削減効果だけでなく地球にもやさしい「アイドリングストップ運動」や「低公害車の導入促進」そして「環境基本行動計画の策定」など、業界一丸となって取り組んでいます。

かけがえのない自然を責任をもって未来に届けるために、私たちは走り始めています。

山梨県トラック協会は「チーム・マイナス6%」を応援しています。

(社)山梨県トラック協会(環境保全対策委員会)
(社)全日本トラック協会
後援/山梨県 関東運輸局山梨運輸支局

山梨中央銀行 www.yamanashi-choei.co.jp/

山梨中銀 創業支援ローン

ファインスタート

ヨ-イスタート!

金利優遇あり

- 最大1,000万円
- 無担保でのお取扱い
- 第三者保証人不要

※審査結果によっては、ご希望に添えない場合もございますので、あらかじめ御了承ください。

ご利用は山梨中央銀行の窓口
またはフリーダイヤルへどうぞ

0120-201862

中小企業事業主の皆様

こんなときだからこそ

人を育て、会社を強くしたいなら

ワーク・ライフ・バランス

ひとつ「働き方」を変えてみよう!

カエル! ジャパン

Change! JPN

★診断アドバイザーによる

訪問・無料診断サービス受付中!

「仕事と生活の調和のとれた働き方」の実現に向け、プロの診断アドバイザーが会社にご訪問・労務管理上の問題点を診断し、改善・適正化へ向けたアドバイスをご提供。理想の職場環境づくりをお手伝いいたします。

仕事と生活の調和推進診断サービス事業

- 1 診断指標に基づき、実態把握と診断を実施
- 2 改善策等について診断書を事業主に交付
- 3 診断後に相談や情報提供でフォローアップ

無料診断

問い合わせ・申し込み先

(社)全国労働基準関係団体連合会 山梨県支部
甲府市北口2-15-1 桂甲府ビル
TEL.055-251-6626 FAX.055-251-6615

編集後記

早いもので今年も12月となりました。

リーマンショックや政権交代などの日本全国に影響を及ぼした問題の他に、不況等の影響から各業界毎に様々な問題がありました。残り1ヶ月となった平成21年ですが、最後に良いことが起こる事を期待しています。

●ご意見・ご要望は、
中小企業タイムズ編集班まで

TEL 055-237-3215
FAX 055-237-3216
E-mail webmaster@chuokai-yamanashi.or.jp

平成21年度情報連絡員会議を開催



各業界の景況感が報告された

また、当日は、会議に先立って、「県内の景況と経済動向について」山梨県内における景況感と今後の見通しと題して日本政策金融公庫甲府支店の舩田一彦支店長が講演を行った。

中央会では10月23日、中小企業会館4階の中央会研修室において、平成21年度の情報連絡員会議を開催した。

情報連絡員には、それぞれの業界の景況感や現状を生声として毎月報告を頂いており、県中央会では県内の状況を取りまとめ全国中央会に報告している。

情報連絡員会議では、本年度の半期（4月～9月期）の概況について事務局が説明を行った後、中央会の内藤会長が座長となり、各業界の景況感を中心とした実情について意見交換が行われ、中小企業の厳しい実態が連絡員から報告された。（関連：10月の県内景況は3面に掲載）

景況が回復基調にあると言われる中で、県内中小企業には全く実感の感じられない現状が改めて認識される結果となった。

県内の景況について 情報交換

山梨県中小企業団体中央会が推進します



随時募集中

労災上乘せ共済

万一の従業員の災害に備え、十分な安全対策を講ずると同時に、十分な補償体制を整えておくことが「企業の繁栄」と「従業員福利厚生」のための必要条件です！

引受保険会社

三井住友海上火災保険株式会社 山梨支店

〒400-0858 山梨県甲府市相生2-3-16
TEL 055-228-4331 FAX 055-228-4385

「山梨県知事と経済団体との懇談会」開催



11月11日（火）甲府市「談露館」において「山梨県知事と経済団体との懇談会」が開催された。この懇談会には、山梨県から知事及び部長等、経済団体（山梨県中小企業団体中央会、山梨県商工会連合会、甲府商工会議所、富士吉田商工会議所）からは、4団体より代表者等12名が参加して行われ、県内経済界が抱える問題点解決のための要望が県に伝えられた。

本会からは内藤悦次会長等3名が出席し、公共施設等の維持管理を官公需適格組合等中小企業組合を活用した指定管理者等で直接または間接に中小企業が適正な価格で受注確保が図られるような仕組みを構築する事などを求めた。

要望書概要

「経営支援の拡充強化」

- ①小規模企業対策・組織連携対策の拡充強化
- ②農商工連携ファンドの創設による積極的な事業推進
- ③山梨みらいファンドの拡充による産業支援の強化
- ④中小企業のBCP対策支援の強化

「新たな産業振興の推進」

- ①地域中小企業に対するCO₂削減による温暖化防止対策への支援強化
- ②地域中小企業のクリーンエネルギー等の活用に必要な新技術による製品開発及び企業の育成等の支援と環境関連産業の県内誘致政策の推進
- ③リニア中央新幹線・中部横断自動車道の開通を見据えた地域経済活性化への総合的な取り組みの推進

「中小企業の経営環境の整備促進」

- ①県資金繰り支援借換融資制度の拡充及び資金繰り円滑化支援の強化
- ②山梨県商工業振興資金 起業家支援融資制度の条件緩和
- ③中小企業の長期的な活力維持のため雇用環境面の整備促進
- ④倒産防止共済支援による経営安定支援の強化

「中小企業の取引拡大支援」

- ①地場産業の技術者育成強化と県産品販路拡大の推進及び伝統的産業活性化への支援
- ②山梨県産材を活用した住宅の普及による建築業と林業の活性化
- ③公共事業等について県内中小企業が受注確保できるような仕組みの構築
- ④経済の国際化に伴う中小企業の海外展開への支援



中央会内藤会長からも要望が伝えられた



山梨県商工会連合会の竹井会長（左）より横内知事に要望書が手渡された

退職金準備等をお考えの経営者の皆様に！

山梨県中央会共済制度

- ◎特定退職金制度…
大企業並みの退職金制度が確立できます。
- ◎総合保障プラン…
集団扱定期保険により割安な掛金です。



引受会社

三井生命保険株式会社

〒400-0031 甲府市丸の内1-17-10 東武穴水ビル8階
TEL055-224-3152